

Risk Profiling of Cancer Treatment-related Cardiovascular Disorders in Breast Cancer Patients Who Received Adjuvant Chemotherapy With Trastuzumab

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2020-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 信濃, 裕美 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002394

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2148 号

Risk Profiling of Cancer Treatment-related Cardiovascular Disorders in Breast Cancer Patients Who Received Adjuvant Chemotherapy With Trastuzumab

トラスツズマブ補助化学療法をうけた乳がん患者におけるがん治療関連心血管障害とそのリスク因子に関する研究

信濃 裕美 (しなの ひろみ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

医療の発展によるがん患者の生命予後の向上とともに、分子標的薬等に伴うがん治療関連心血管疾患(cancer treatment-related cardiovascular disorders : CTRCD)が、近年臨床的課題として注目されている。本研究は、2010年4月から2016年12月まで順天堂医院でトラスツズマブによる術前・術後補助化学療法を受けた141症例の早期乳がん患者を対象としたCTRCDに関する後ろ向き観察研究である。このコホートの追跡期間(中央値11カ月)中の左室駆出率の中央値は67%(BL)から63%(FU)に有意に低下しており、フォローアップ中に左室駆出率がBLから10%以上の低下かつ施設基準値の53%を下回った群では、高血圧、糖尿病、高脂血症、心臓病の既往などの心血管リスク因子(CVRF)を事前に有しているケースが有意に多いことを明らかにした。本論文はリアルワールドデータから、実臨床においてトラスツズマブ使用症例における適切な心機能評価の重要性と心血管リスク因子(CVRF)を有している症例に対するより詳細な観察の必要性を明らかにした臨床的に意義がある論文である。

よって、本論文は博士(医学)の学位を授与するに値するものと判定した。